学校番号	２０２

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	表現メディアの編集と表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目では、様々な素材をコンピュータを用いて統合・加工し、効果的に表現する方法について学びます。授業時間の多くはコンピュータを用いた創作活動になりますので、完成度の高い作品を完成させられるよう、積極的に取り組んでください。

・様々な素材を使用します。２年次で学んだ著作権法の知識を生かし、各素材の権利や利用条件に留意しながら制作を行ってください。

2　学習の到達目標

コンピュータによる表現メディアの編集と表現に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てることを目標とする

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	コンピュータでの様々なメディアの表現に興味を持ち、主体的に創作・編集活動に取り組める。	目的に合わせて、素材の準備、適切なコンピュータ上での表現の形式を計画する。	さまざまな編集ソフトウェアの機能を理解し、目的に合わせて適切に使用することができる。	音声・画像・動画などのさまざまな表現メディアの特性を理解する。
評価方法	出席状況 提出物 学習活動の様子	学習活動の様子 作品	学習活動の様子 作品	学習活動の様子 作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	音・音楽の表現	シーケンサの活用 作曲の基礎	○		○	○	a:関心・意欲をもって過大に取り組めている c:シーケンサを効果的に活用できている d:コンピュータ上での音声・音楽の表現方法について理解している	学習活動の様子 作品
1	静止画の処理	画像処理ソフトの活用 写真の補正 チラシの制作	○	○	○	○	a:関心・意欲をもって課題に取り組めている。 b:内容がよく伝わる見やすいデザインになっている。 c:静止画を意図したとおりに加工・処理できている。 d:画像処理ソフトの機能を使いこなしている	学習活動の様子 作品
2・3	動画の処理	ビデオ編集ソフトの活用 素材の収集 ビデオ作品の制作 発表	○	○	○	○	a:関心・意欲をもって課題に取り組めている。 b:作品を制作するために必要な素材を計画的に収集できる。 c:動画編集ソフトの機能を活用し、目的にあった加工・処理ができる。 d:コンピュータ上での画像や動画の表現方法を理解し、目的に合った適切な方法を選択できる。	学習活動の様子 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。